

## ジンコソーラー初の蓄電システム製品 SUNTANK、日本 PV EXPO 2021 初登場

2021年3月3日、ジンコソーラーは初の蓄電池システム製品 SUNTANK とモジュール製品の Tiger pro シリーズを携えて、「PV EXPO 2021」で発表した。グローバルで初登場のスマート住宅用蓄電池システム SUNTANK は、ジンコソーラーが日本の住宅用市場に向けて特別に開発した製品である。昼間に蓄電池に充電された電力を夜間に使ったり、ピーク時には再生可能エネルギーで不足した電力をカバーしたり、24時間で継続的な電力供給を実現可能である。また、同製品は既に JET 認証の申請を進めており、2021年第3四半期に日本市場で販売開始する予定である。

SUNTANK シリーズは、より安全で高信頼性のリン酸鉄リチウム (LiFeP04) 蓄電池セルを搭載する。6、9、12kWh の3種類の蓄電容量製品があり、24時間の遠隔監視により安全性を確保する。15年標準保証、防水保護等級 IP65 があり、零下 10°C の環境でも安定動作可能である。SUNTANK は高信頼性、安全性、品質保証、耐震防水、柔軟な電池容量及びより専門技術的なアフターサービスによって、日本の一般ユーザーからの高い要求を満足させる。



PV EXPO ブースに展示された SUNTANK。

ジンコソーラーは世界最大手の太陽光発電企業として、日本市場における長期間で経験豊富なサービスと長期的なパートナーがあるため、2020年日本市場出荷量は1.1 GW以上に達し、2年連続日本一となる17%のシェアを獲得した。それは、日本蓄電池システム市場進出への成功の基礎となる。新製品 SUNTANK は「住宅用太陽光発電・蓄電システム」の上で、日本のユ

ーザーに新しいソリューションを提供する。また、生活習慣に適合し、昼間に蓄電池から電気を供給することで電力料金を削減することができる。

日本の蓄電池システム市場に進出することについて、ジンコソーラー日本社長の孫威威は「世界のほとんどの地域で、太陽光発電は最も経済的な電源になっています。天候などによって出力が大きく変動する太陽光発電が増えてくると、使い切れない電気を貯めたり、足りない電気を補うための取組みが必要になります。今回、ジンコソーラーは蓄電池製品の設計と品質を日本向けに最適化し、新製品 SUNTANK は日本の住宅用市場を中心に、日本企業と連携して全国 300 拠点からのアフターサービスを提供します。」と述べた。